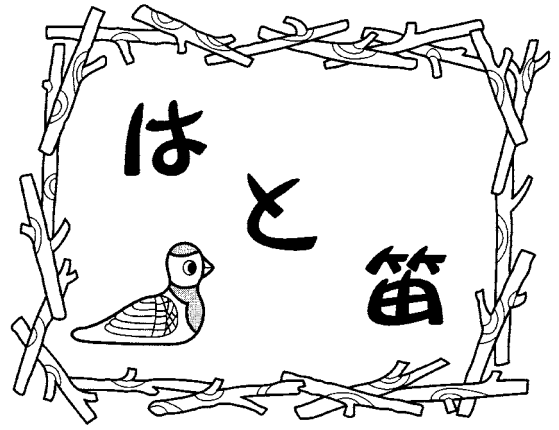


弘前市立弘前図書館での初学者を対象とした講座「短歌をつくろう」は、今年で3回目となった。毎回参加者は異なるけれど熱心に私の話に耳を傾けてくれる。子ども連れの若いお母さんといれば年配の女性、定年退職後間もない男性や現役バリバリの青年もいるといった状況で、受講者は老若男女さまざま



山谷氏近影



短歌の器を充たすもの

山谷 英雄

ある。

青森県内の歌人の紹介や短歌の決まりごとなど一通りの講義が終わったあとで、その都度実際に短歌をつくってもらうことにしている。昨年は、鳥打ち帽子を持ち込んで、帽子を題材にし、今年は拡大鏡を題材にしてみた。短歌に関心、興味があるとはいえこまめで講座開始後まだ2時間しか経っていないにもかかわらず受講者のいずれもが短歌を1首、あるいは3首完成させてくるのには、毎回われながら驚いてしまう。提出の作品は、私がある場で添削、助言をしてお返しをするのだが、作者の了解を得たうえで、ホワイトボードに原作を書き、赤ペンで添削していくことも行って、他の人の作品の添削を全員で共有することで、表現の無駄や独りよがりの歌句の矯正を見てもらいながら、自分のこととして学んでもらい、通俗に陥っている感覚を詩的に目覚めさせるようにアドバイスをすることで短歌が定型詩であることを認識してもらっている。受講者の作品をここに紹介できないのが残念だが、なかには新聞歌壇程度であれば、直ちに入選すると思われるくらい完成度の高い作品もある。

ところで、短歌はたかだか五七五七七の五句三十一音律の短い定型詩である。この詩型が万葉の時代から今に至るまで減じることなく続き、いまなお多くの短歌作者がいるとい

うことは、結局はこの詩型がわれわれ日本人にとって感動や思いを伝えるには最も適したことばの器であり、愛され続けてきた叙情詩であるということになるのだろうか。

ではこの詩型になにを盛るべきか。端的に言えば、いまわれわれが生きて日々あるいのちを詠むしかないということになる。感動というのは、われわれのいのちが何ものかによって揺さぶられることであり、自分の存在を認識させられることである。ゲーテが「わたしの詩は現実によって啓示されたものであり、現実の中に根を下ろしている。ぽっかり空中で捕らえられたものは、詩ではない。」と言っている言葉は短歌作者としては非記憶しておきたいものである。大きな感動というもの、日常つねにあるわけではないから、結局は日々の感動、それはちょっとしたことの発見であったり、さらに言えば身めぐりの事物に気づく心の動きを掬いとることなのかもしれない。こころに響くいのちのことばで短歌の器をとくとく充たしたいものだ。

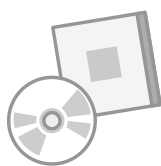
〈山谷氏近詠〉

捨てられし子猫に名ありラブといふ
金の名札もダンボールの中

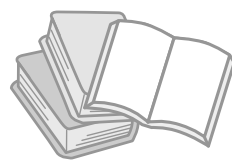
(NHK学園短歌講師「運河の会」代表)



貸出システムの更新により



ココが変わりました！



10月1日からの主な変更点をご紹介します

書庫資料をお渡しする際、これまでお客様には書庫出納票（レシート）にカード番号と氏名を記入してもらいお申込んだいておりました。今後はカード番号と氏名をご記入いただくことなく、カウンターにお持ちいただくだけで結構です。お申込の際にはお客様に番号札をお渡しして、資料の準備が出来次第、職員が番号で呼びいたします。



●書庫出納票と番号札（レシート）

〈弘前図書館〉
書庫資料の
お申込方法が簡単に

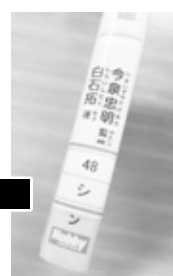


●カウンターで透明ケースを解錠します

従来はダミーのケースをお客様にカウンターへお持ちいただいていたから、職員が奥から本体を取り出して貸出をおこなっておりました。10月1日よりDVDの本体を透明ケースに入れて棚に置いています。これにより、貸出の際お客様にお待ちいただく時間が短縮されました。DVDの貸出をご希望の方は、透明ケースごとカウンターへお持ちください。

〈弘前図書館〉
DVDはケースの
ままお持ちください

背ラベルとは本の背表紙に貼っている数字やカタカナが記されたラベルのことです。図書館では背ラベルの番号で、内容ごとに本を分類し管理しています。このたび、こども絵本の森蔵の本を3桁の分類に変更いたしました。たとえば料理の本や育児の本など、これまで「家政」という大きなグループで同じ棚にいっしょに置いていた本をより細かく並べることで、更に探しやすくなりました。

新
3桁 (480)旧
2桁 (48)

〈こども絵本の森〉
背ラベル表記が3桁に





インターネットサービス編

サジェスト機能を追加

蔵書検索時、検索窓に文字を入力すると、その文字から始まるキーワードが自動的に表示されます。これにより、入力の手間が軽減されました。



●サジェストを使った資料検索の様子

本に書影が付きました

蔵書検索時、検索結果一覧に書影（表紙画像）が表示されるようになりました。文字だけではなく画像でも確認できるので、本がより探しやすいになりました。
※一部表示されない本もあります。



●書影画面

「予約かご」機能を追加



●「予約かご」画面



●「予約かご」のカテゴリ画面

従来は1冊ずつしか予約できなかった本が、まとめて予約できるようになりました。この機能は、蔵書検索画面から「予約かごに追加」のボタンを押すと使うことができます。
また、予約かごに「カテゴリ」を設定することで「次に読みたい本」や「〇〇シリーズの本」等、予約したい本を自分で分類し、保管することもできるようになりました。

インターネットサービスを便利に使ってみませんか？

予約のほか、利用状況の参照などもできて便利です。
弘前市立図書館インターネットサービス

<http://www.hi-it.jp/opac/>

※ログインするには図書館カードと仮パスワード（カウンターで交付）およびメールアドレスの登録が必要です。



ご利用上の注意

読みたい資料の整理にも便利な「予約かご」ですが、かごに追加しただけでは予約したことはなりません。予約かご画面下にある予約ボタンを押し、予約を確定させてください。



イベント実施報告

9月・11月



〔弘前図書館〕

宇宙学校ひろさき

川口先生ら来弘



川口淳一郎先生

8月31日に弘前市民文化交流館ホール（ヒロロ4階）で、弘前図書館主催の「宇宙学校・ひろさき」が開催されました。宇宙学校とは、子どもたちに宇宙に関する知識や関心を深めてもらうことを目的に、JAXA宇宙科学研究所によって毎年全国各地で行われているイベントです。今回は、JAXAシニアフェローである弘前市出身の川口淳一郎先生と北海道大学の坂本尚義先生をお招き



坂本尚義先生

し、それぞれの研究分野を授業形式で分かりやすく解説してもらいました。

坂本先生は『宇宙の物質を分析しよう』―隕石、イトカワ、リュウグウ―というテーマで、宇宙と地球の環境の違いや、宇宙の物質の重量を量るための同位体顕微鏡の仕組み、はやぶさ2のプロジェクトなどを話してくださいました。川口先生は『宇宙を飛ぶスゴイ技術!』はやぶさ、はやぶさ2、イカロスがわかることも実験教室:!!』というテーマで、はやぶさについての技術的な部分の解説のほか、搭載された機能と効果を身近にあるもので再現する方法についてもお話しいただきました。かつて同氏がプロジェクトリーダーをつとめた「はやぶさ」は、数々の困難を乗り越えながら地球を目指す姿が世界中の人々から大きな感動を呼びました。会場からは、「はやぶさ3プロジェクトがあるとしたらどのようなミッションになるの?」といった質問も出されました。



参加者は100名近くにのぼった

〔弘前図書館〕

バリアフリー映画会

字幕・音声ガイド付きで上映

10月5日に弘前図書館で第3回弘前ライブラリーシネマが開催されました。上映する映画は「バリアフリー映画」と呼ばれるものです。登場人物の台詞や動作に字幕と音声ガイドがついており、目や耳の不自由なお客様の役に立ちます。健康者には物語を理解する助けとなります。



映画会の様子

今回上映した作品は『東野圭吾ドラマシリーズ「笑」』。国民的小説家である東野圭吾の作品から「モテモテ・スプレー」「あるジーサンに線香を」「誘拐電話網」の3編を映像化したものです。当日は51名のお客様にご来場いただきました。今回は初のコメディ作品の上映ということもあり、会場は終始「笑」が絶えない和やかな雰囲気になりました。



〈弘前図書館〉

追手門広場消防訓練

やさしい日本語意識して サイネージも

9月19日に、弘前図書館、観光館など追手門広場内の7つの施設による合同消防訓練を行いました。今回は、外国人の観光客もいるという想定で、図書館で「やさしい日本語」による避難誘導を行い、デジタルサイネージ（電子看板）を活用したお客さまへのご案内を試みました。



デジタルサイネージで誘導

〈弘前図書館〉

短歌をつくろう

拡大鏡など題材に実作

9月8日、弘前図書館で第3回講座「短歌をつくろう」が行われました。講師はNHK学園短歌講師を30年以上に亘って務められ、全国結社「運河の会」の代表でもある山谷英雄先生。短歌の基本的な構成や青森県内の歌人とその作品を紹介した後で、講師が用意した拡大鏡をもとに実作をしていただきました。その後、完成した作品はホワイトボードを使い添削指導をしていたいただき受講者全員で作品づくりを楽しみました。

〈弘前図書館〉

読み聞かせ講習会

読み聞かせノウハウを指導

10月19日に、弘前図書館で読み聞かせのボランティアを始めてみたい方を対象に行われました。はじめに緊張をほぐすため大きな声で歌った後、実際に一人ずつ絵本を読んで、細かな技術指導が行われました。受講者からは「ぜひ講師の高嶋さんとボランティアを始めてみたい」という感想が寄せられました。



技術指導する高嶋さん

〈弘前図書館〉

雑誌バックナンバーの無料提供

開館前から大行列

10月26日、弘前図書館では保存期間の経過した雑誌が無料で提供され、当日は開館時間前から多くのお客様が雑誌を求めて正面玄関前に並びました。100種もの雑誌が会場に置かれ、開館後数分でなくなった人気の雑誌もありました。約1,300冊の雑誌は一日ですべて持ち帰られました。



待機するお客様で溢れかえるロビー

〈岩木図書館〉

より使いやすい図書館に

全国紙を購入・書架を増設

7月に閲覧室と児童室に書架を増設しました。入口付近に増設した棚には新刊本のほか、話題の本、映像化された本なども置かれ、お客様の目を引いています。今まで中々日の目を見なかった本も、改めて利用されています。また、この度お客様アンケートを実施し、最もご要望の多かった朝日新聞を購入しました。より快適に使いやすくなりましたので、どうぞご利用ください。



増設した書架

令和元年度9月～11月

施設見学・職場体験受入状況

※令和元年11月30日現在

〈施設見学〉 岩木小学校、大鰐小学校、裾野小学校、高杉小学校、西北地区高等学校図書委員研修会

〈職場体験〉 青森第一高等養護学校、碓ヶ関中学校、柏木農業高校、第五中学校、弘前工業高校、南中学校、第三中学校



<入選者・入選作品発表>

令和元年度（第50回）弘前市小・中学生読書感想文コンクール

《小学校》

★3学年の部

区分	作品の題名	学校名	氏名
第1席	動物をすきなだけじゃだめなんだ	東小	佐々木 貴人
第2席	『ひろしまのピカ』を読んで	和徳小	三浦 芽結
第3席	『借りぐらしのアリエッティ』を読んで	大成小	藤田 成美
佳作	『かみさまにあいたい』を読んで	三大小	三政 朱里
佳作	未来へつなげる命	和徳小	木原 結奈
佳作	こん虫ってすごい	三大小	藤田 珂子
努力賞	『どろかぶら』を読んで	三大小	藤田 維心
努力賞	しょうがいの人もこうふく	附属小	吉田 蒼汰
努力賞	『しゅかん図鑑』を読んで	附属小	長尾 歩実

《中学校》

★1学年の部

区分	作品の題名	学校名	氏名
第1席	動物たちが見た戦争	附属中	荻野 桜子
第2席	『夏の庭』を読んで	附属中	川村 洸太
第3席	『天国までの四十九日間』	第一中	笹森 野愛
佳作	蜘蛛の糸	附属中	田中 瑛菜
佳作	最後まで一生懸命	第一中	大坂 圭乃
佳作	人間とは	附属中	坂本 莉乃
努力賞	隠す文化と日本人	附属中	鳴海 ひかる
努力賞	愛情のバトン	附属中	種田 奈々子
努力賞	『70年分の夏を君に捧ぐ』を読んで	第二中	三上 花衣

★4学年の部

区分	作品の題名	学校名	氏名
第1席	お母さんの大事さが分かる話	東小	遠藤 凜希
第2席	大切な思い出	堀越小	外崎 快晟
第3席	みんなの命、大切に	三大小	對馬 瑞音
佳作	神様に会えなくても…	三大小	桑村 大智
佳作	『ペートーベン』を読んで	豊田小	三上 慧
佳作	かってみたいよ、ふしぎな動物	附属小	室谷 桜花
努力賞	『ペートーベン』を読んで	三大小	一戸 楽惺
努力賞	『赤毛のアン』を読んで	附属小	三輪 幸花
努力賞	ぼくはどう生きるか	相馬小	宮川 京万

★2学年の部

区分	作品の題名	学校名	氏名
第1席	明日死ぬかのように生きる	附属中	齋藤 舞衣
第2席	のび太から学ぶ人生	第四中	鈴木 葉子
第3席	未来へとつなぐ希望のバトン	附属中	田中 ななみ
佳作	“昔ながらの日本”の素晴らしさ	附属中	菊池 咲希
佳作	世界に一つだけの贈り物	附属中	工藤 琴巴
佳作	『人間失格』を読んで	附属中	坪田 詩
努力賞	生きる希望	第一中	鎌田 莉央
努力賞	バッタを求めて三千里	附属中	今村 知暉
努力賞	令和を生きる	附属中	中林 佳南

★5学年の部

区分	作品の題名	学校名	氏名
第1席	「こえよみ」の力がなくても	三大小	建部 佑斗
第2席	ぼくのスタートライン	三大小	宮崎 奏和
第3席	かべをこえるために	附属小	山口 青空
佳作	最高の友達に出会うために	附属小	赤石 三奈美
佳作	『怪人二十面相』を読んで	時敏小	田中 楓小
佳作	ゴージュが教えてくれたこと	福村小	千葉 晴登
努力賞	君たちはどう生きるか	時敏小	森谷 仁香
努力賞	勇気を持ったチャレンジ	福村小	中田 史紀
努力賞	オギーが教えてくれたこと	附属小	櫻庭 彰人

★3学年の部

区分	作品の題名	学校名	氏名
第1席	九人目の発表者として	附属中	殿内 佑梨
第2席	これからの自分	附属中	荻野 菜々子
第3席	本当の家族	第二中	竹森 菜奈
佳作	命と命のリレー	第二中	小枝 彩音
佳作	強さとは	附属中	北山 沢
佳作	自分なりに	第二中	工藤 菜々美
努力賞	私の存在価値と命	附属中	村上 綾
努力賞	獣	附属中	渡辺 蘭菜
努力賞	銀河ステーションの向こうから	津軽中	三上 愛結佳

★6学年の部

区分	作品の題名	学校名	氏名
第1席	ゴールの先にあるもの	附属小	板井 孝瑞
第2席	命を預かるということ	時敏小	松谷 夏音
第3席	かべを乗り越えるためには	附属小	林 大晴
佳作	人をうらやむ気持ち	附属小	中村 つき
佳作	「ピカドン」のおそろしさ	大成小	立田 美月
佳作	美しい音のためには	附属小	伊藤 美瑠
努力賞	『死ってなんだろう』を読んで	三大小	櫻庭 瑞優
努力賞	『ぼくたちはなぜ学校へ行くのか』を読んで	北小	佐藤 太陽
努力賞	本当のものを見る勇氣	福村小	渡部 海翔

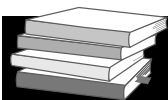
令和元年度(第2回)弘前市立図書館を使った調べる学習コンクール

区分	部門	作品の題名	氏名
最優秀賞	小学生の部	カレーなる大図かん	高山 京慧
優秀賞	子どもと大人の部	アリのくらし	葛西 陽翔 葛西 景子
優良賞	小学生の部	城下まち弘前が県庁ではない理由(わけ)	島田 逸生
佳作	小学生の部	縄文時代～縄文時代のくらしの変化～	宮崎 奏和
佳作	小学生の部	10年後ぜったい乗るぞドクターヘリ	細羽見 周



入選者のみなさん

たくさんのご応募ありがとうございました！



BOOK REVIEW

この本が面白い!



『暮らしてみたい 世界のかわいい街』

MdN編集部編
インプレス (発売) 2019年

この本は世界の美しい魅力あふれる街並みを解説文とともに紹介する写真集です。おとぎ話に出てくるかのようなかわいらしい家が並ぶ街、壮麗な建築物が続く街、自然に囲まれた色鮮やかな景色など、見ているだけでファンタジーの世界に入り込んだかのような気分になります。リゾートの街、

花の美しい街、世界遺産の街、作家ゆかりの街など、いつまでも眺めていたくなる美しい景色がたくさんつまっている一冊です。



『本当の「頭のよさ」 ってなんだろう?』

齋藤孝著
誠文堂新光社 2019年

「なぜ勉強しなければいけないの?」と子どもに訊かれたとき、納得がいくように説明できますか? この本は「頭のよさ」とは何か、なぜ勉強する事が大事なのかを、子ども達に向けて詳しく説明しています。スタートは皆同じです。そこから自分に自分を向上させていくか、目標に向かってベストを尽くしていくか。生きていく限り学びは続きます。これからの人生がより豊かになるよう、子ども達だけではなく、大人も勉強になる一冊です。



『金運を爆上げる 12の習慣』

今井長秀著
幻冬舎 2019年

宝くじを買って「もし当たったら……」と妄想を膨らませた経験はありますか? でも、当たるための方法はあまり知りません。「日本一宝くじが当たる寺」と称される長福寺の住職が、仏教の教えをもとに金運を上げるための法則を指南している一冊です。12種類のプログラムを実践して習慣化する

することにより、心が磨かれ、金運だけではなく全体的な運氣も高めることができます。書かれています。新年に向けて挑戦してみませんか?



『戦国 忍びの作法』

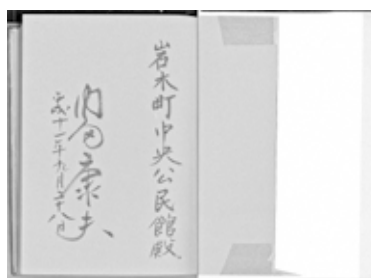
山田雄司監修
G・B 2019年

現代でも、小説やアニメなど様々なフィクションの世界に現れる「忍者」。実際、彼らはどのような存在だったのでしょうか? 実在した忍者達の秘密に迫るのがこの本です。忍者が使っていたとされる多様な術や武器、訓練方法、果ては普段の暮らしまで、イラストを交えて分かりやすく解説しています。「えっ、こんなこともできたの?」と当時の最先端技術の数々に驚くこと間違いなしです。

内田 康夫 (うちだ やすお)

(1934年 - 2018年)

東京都生まれ。日本ミステリー文学大賞受賞。旅情ミステリー作家の代表的人物として知られる。



サイン本 流れるような筆の動き

発見! 著名人のサイン本
内田 康夫
平成11年9月28日、弘前市と合併する前の岩木町だった頃、内田康夫さんを講演会にお招きし、寄贈していただいたものです。



図書館ボランティア紹介①

日本赤十字社青森県点訳音訳デイジー編集
赤十字奉仕団弘前分団音訳部

代表・齊川 紀貢世さん

―所属団体について―

構成メンバーは19名。今年で発足40周年を迎えます。

―音訳ボランティアとしての活動経験は?―

図書館での活動は18年余りになります。

―活動内容・やりがいなどを教えてください。―

視覚障がいのある方、自力での読書が困難な状況にある方々への録音物の製作。「表に出ない黒字」として活動しています。マイクの向こうの必要としている人に届くよう「話すように読む」のが基本です。目の前の活字を追いかけるのに精一杯で一日に数ページ、3ヶ月以上かかって1冊の録音が終わるとほんわかつた充足感に満たされます。基本的に自宅で録音の作業をするので家族の理解や協力が不可欠です。声に出し本を読むこと、辞書やネットをお供に漢字や地名を調べることで、誤読を指摘されたときに謙虚に直せることができるかどうか、この活動に向いているかどうかのポイントかもしれません。

―読者の方へ一言メッセージをお願いします。―

自分ができる事って結構あるものです。ご一緒にいたしませんか?

お客様にやさしいお助けグッズをご用意しています

弘前図書館では次のものをご用意しています。詳しくはスタッフにお訊ねください。

- ・ブックカート ・車椅子 ・拡大読書器 ・老眼鏡、拡大鏡 ・大きな活字の本
- ・朗読CD

※その他、バリアフリー映画会や、対面朗読サービスなどもございます。



ブックカート
本を持ち運ぶ際にご活用ください

図書館イベント情報 12月～令和2年2月

弘前図書館

クリスマスおはなし会

【日時】12月21日(土) 14時～14時40分
【対象】幼児、小学生【語り手】おはなしボランティア「おはなしるんるん」のみなさん

第3回弘前図書館市民講座

【日時】1月11日(土) 13時30分～14時30分
【対象】小学生以上60名(申込・先着順)【講師】藤田栄一さん(ロマントピア天文台「銀河」台長)

岩木図書館

おはなしクリスマス会

【日時】12月14日(土) 10時30分～11時15分
【語り手】おはなしボランティア「テラズ」のみなさん

親子でこぎん刺し教室

【日時】2月15日(土) 10時～11時【材料費】300円【対象】小学生の親子5組(申込・先着順)

はじめてのこぎん刺し教室

【日時】2月15日(土) 13時30分～14時30分【材料費】300円【対象】5名(申込・先着順)

こども絵本の森

冬休みおはなしクイズラリー

【日時】12月21日(土)～1月13日(月)

雑誌バックナンバーの無料提供

【日時】2月23日(日) 10時～※なくなり次第終了

弘前図書館

開館時間
平日 9:30～19:00
土日祝 9:30～17:00
休館日…毎月第3木曜日
年末年始
蔵書点検期間
電話 32-3794

岩木図書館

開館時間
平日 9:30～19:00
土日祝 9:30～17:00
休館日…毎月曜日
年末年始
蔵書点検期間
電話 82-1651

いづも絵本の森

開館時間
10:00～18:00
休館日…毎月第3木曜日
蔵書点検期間
電話 35-0155

相馬ライブラリー

開館時間
9:30～17:00
休館日…毎週水曜日
年末年始
蔵書点検期間
電話 84-2316

発行：指定管理者 TRC・アップルウェーブ・弘前ペンクラブ共同事業体

